

件名：【自然科学研究機構メールマガジン 第45号】第6回自然科学研究機構若手研究者賞
記念講演一般受付開始

□自然科学研究機構シンポジウム・メールマガジン 第045号

-----2017. 5. 29-----

第6回自然科学研究機構若手研究者賞記念講演の開催については、第44号でお知らせしたところですが、本日（5月29日（月））から一般の方の申込受付を開始しましたのでお知らせします。

INDEX

1. 第6回自然科学研究機構若手研究者賞記念講演一般受付開始
2. 最新の研究成果・ニュース
3. おわりに

-
1. 第6回自然科学研究機構若手研究者賞記念講演一般受付開始
-

自然科学研究機構では、新しい自然科学分野の創成に熱心に取り組み成果をあげた優秀な若手研究者を対象として「自然科学研究機構若手研究者賞」を授与しています。

この度、同賞の第6回受賞者による記念講演会を、下記通り開催することとなりました。本記念講演では、最先端の学術研究に触れ、科学に対する興味をより一層持っていただくことを期待し、高校生にも分かり易く講演を行います。

また、講演の後、ミート・ザ・レクチャラーズと称する、講演者と直に対話できる機会を設けます。（16:10～17:00頃の予定）

◆第6回自然科学研究機構若手研究者賞記念講演

[宇宙・生命・脳・物質・エネルギー] 若手研究者による Rising Sun VI]

<概要>

日時：6月11日（日）12:30-17:00

場所：日本科学未来館 7階 未来館ホール

（東京都江東区青海2-3-6）

定員：300名、事前申込制（無料）

本記念講演の申込受付は、その趣旨から、学生の皆さんを優先して行って参りました。

いよいよ本日（5月29日（月））からは、一般の方の申込受付を開始します。

第一線で活躍する若手研究者の研究内容に興味のある方は、是非お申込ください。

[自然科学研究機構HP]

<http://www.nins.jp/risingsun.php>

[参加申込フォーム]

<https://www.nins.ac.jp/sympo>

【LIVE配信】

ニコニコ生放送・YoutubeLiveにてLIVE配信を実施します。
リンクは上記自然科学研究機構HPにて公開しています。

3. 最新の研究成果・ニュース

【国立天文台】

◆ひらかれた太陽物理の新しい扉～真空紫外線による偏光分光観測～
<http://www.nao.ac.jp/news/science/2017/20170518-clasp.html>

【基礎生物学研究所】

◆幹細胞化する細胞がとなりの細胞の幹細胞化を抑制することをコケ植物で発見
<http://www.nibb.ac.jp/pressroom/news/2017/05/15.html>

【生理学研究所】

◆グリア細胞が脳を外傷から保護するメカニズムの解明ーミクログリアによる神経保護的アストロサイトの誘導ー
http://www.nips.ac.jp/release/2017/05/post_342.html

【分子科学研究所】

◆味を感知する受容体のセンサー領域の立体構造を初めて解明
https://www.ims.ac.jp/news/2017/05/23_3705.html

4. おわりに

ノーベル賞に結びつく研究や、異分野・新分野などの研究を推進するための最も良い方法の一つは、若手研究者を支援することです。実際、ノーベル賞の受賞者の平均年齢は50歳後半ですが、受賞理由となった研究の成果の多くは30～40代で発表しています。昨年、ノーベル生理学・医学賞を授賞された大隅基礎生物学研究所名誉教授も同様に、受賞理由となった主要論文4つのうち、2つは基礎生物学研究所に着任されてから、つまり1996年以降で50代のものですが、東京大学における2つはそれ以前、つまり40代の業績です。

今回の自然科学研究機構若手研究者賞記念講演においても、基礎生物学研究所を始めとする自然科学研究機構の優秀な若手研究者が講演します。受賞する若手研究者に対し、是非皆様方からエールをお願い申し上げます。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。
ご意見等ございましたら、nins-kikakurenkei@nins.jpまでお寄せ下さい。

【自然科学研究機構シンポジウム・メールマガジン】

このメールマガジンでは、シンポジウムの情報に加えて、自然科学研究機構(NINS)やNINSの各研究機関(※)が開催するイベント等の情報、そして最新の研究成果などをお伝えします。
(※NINSは、国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所の5つの研究所から成り立ち、

自然科学研究の広い分野をカバーしています。http://www.nins.jp/)

発行者：自然科学研究機構 <http://www.nins.jp/>
発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>
バックナンバー：http://www.nins.jp/public_information/mailmagazine.php
配信の中止・購読・バックナンバーはこちらから：
<http://www.mag2.com/m/0001498331.html>

Copyright (C) 2017 NINS All rights reserved.
